

今月は、夏季休暇を前に、(公社)日本観光振興協会の中村様によるコラム「年次有給休暇取得促進に向けて～1 ウィークバカンスのすすめ」を中心に、ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や最新の動き、調査結果等についてお送りします。

.....

(目次)

《コラム》

「年次有給休暇取得促進に向けて～1 ウィークバカンスのすすめ」

公益社団法人日本観光振興協会 旅行振興部門 部長 中村慎一氏

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●働き方・休み方改善指標 (H25) 【厚生労働省】 他

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

《最新情報》

●お知らせ

・労働安全衛生法が改正【厚生労働省】(2014年6月) 他

●地方公共団体等の動き

・大学生向け「ライフプラン・キャリアデザインセミナー」を開催【石川県】(2014年7月) 他

●イベント (開催日順に掲載)

・ワークライフバランスレベルアップ研修会【主催：東京都】 他

《統計・調査トピックス》

●子育て世帯の追跡調査【独立行政法人労働政策研究・研修機構】(2014年6月) 他

.....

《コラム》

「年次有給休暇取得促進に向けて～1 ウィークバカンスのすすめ」

公益社団法人日本観光振興協会 旅行振興部門 部長 中村慎一氏

梅雨も明けこれから一番暑い季節を迎えますが皆様はもう夏休みの計画は立てられましたか？

こんなに暑いともうぐったりですね。こういうときこそ、ゆっくり長休みを取ってゆっくりリフレッシュされるのはいかがでしょうか。

日本は祝日の数は多いけれど、連続して長いお休みを取るのはまだ定着していないのか

もしれません。

厚生労働省が発表した平成 25 年『就労条件総合調査』の結果では、日本の民間企業（常用労働者 30 人以上）の 4,211 社における調査では、労働者の年次有給休暇の取得率は 47.1% で計 8.6 日（付与日数 18.3 日）だそうです。

また、お休みで国内を旅する人は 10 年前から比べてかなり落ち込んでいます。平成 17 年（2005 年）は国民 1 人あたり年間 1.78 回・宿泊数 2.92 泊だったのが、平成 25 年（2013 年）では同 1.43 回・2.35 泊となっています（観光庁『旅行・観光消費動向調査』）。

私ども公益社団法人日本観光振興協会では、ゆったり最低 1 週間は連続で休みをとっていただき、旅に出てもらおうとさまざまな取り組みを行っています。

そのなかで旅と長休みをもっととっていただきたいと皆様のお休み&旅の思い出を楽しく表現していただくとう 1 ウイークバカンス旅行川柳コンテストを今年も実施します。今年で 4 回目となり年々応募者が増えており昨年は 6 千通もの応募がありました。従来のインターネットでの応募に加え、今年 9 月 26 日～28 日に東京ビックサイトで開催される世界最大級の旅の祭典であるツーリズム EXPO ジャパンの会場にも 1 ウイークバカンスのコーナーを設けて投稿ができます。当協会の会員企業・団体の協賛も得て豪華な賞品も用意しています。コンテストの詳細は 8 月上旬に当協会のサイト『がんばろう日本』1 ウイークバカンスに掲載されます。

<http://kokunai.nihon-kankou.or.jp/1wv/index.html>

（昨年の入賞作品抜粋）

食欲を連れて歩いた 七日間  
休み明け 全て忘れた パスワード  
フルムーン 笑顔の妻を そっと撮り  
引越しと 間違う 母の 旅支度  
旅先の パパはテキパキ 家と逆  
若返る 妻がまぶしい 1 ウイーク  
しがらみに 別れを告げて 離陸する  
カーナビのかわりに 響く 母の声

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●働き方・休み方改善指標（H25）【厚生労働省】

厚生労働省では、企業や労働者の皆様が働き方・休み方の現状や課題を自主的に評価を行う際にご活用いただくツールとして「働き方・休み方改善指標」を開発しました。この

指標は労働時間や休暇に関する企業の実態などを「見える化」するものであり、本パンフレットは指標の作成方法や活用方法をご紹介しますものです。働き方・休み方の改善に取り組むきっかけとして、是非ご活用下さい。

⇒ [http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kinrou/140312\\_01.html](http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kinrou/140312_01.html)

●「働き方・休み方改善指標」活用企業募集【(株)三菱総合研究所(厚生労働省委託)】(2014年7月)

厚生労働省では、「働き方・休み方改善指標」を活用して、効率的に働いてしっかり休む職場を作るモデル事業の参加企業を募集しています。

長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進など働き方・休み方の改善を図りたいと感じている企業(20社程度)を対象に、専門家が「働き方・休み方改善指標」を活用した働き方・休み方の現状診断を行い、その診断結果に基づいて、改善に向けた取り組みを提案します。モデル事業の取組を実施いただいた結果等を、今年度作成予定の事例集に掲載する予定です。

⇒ [http://www.mri.co.jp/news/press/public\\_offering/recruit/015599.html](http://www.mri.co.jp/news/press/public_offering/recruit/015599.html)

●社員と会社が元気になる休暇制度を導入しませんか?【厚生労働省】

病気休暇、ボランティア休暇、リフレッシュ休暇、裁判員休暇、犯罪被害者等の被害回復のための休暇など、働く人の様々な事情に対応した「特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度」の活用事例(20社)を紹介するパンフレットを作成しました。「特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度」導入の際のご参考に、是非ご活用下さい。

⇒ [http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kinrou/101216\\_03.html](http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kinrou/101216_03.html)

.....

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう!「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中!【観光庁】

・フォーユーメディカル株式会社

フォーユーメディカル株式会社は、医療・介護機関に福利厚生アウトソーシングサービス『@Benefit(アットベネフィット)』を提供し、医療・介護従事者のより良い暮らしと学び多き職場環境づくりをサポートしている。厚生労働省の推計によると2030年には医療福祉分野が産業別の就業者数で最多の908万人に増加し、高齢化の影響で労働力が伸びる数少ない成長市場になると考えられている。しかし、現実的には生産年齢人口(15~64歳)の割合は減り続けており、高齢化率(65歳以上の老年人口が総人口に占める割合)は、2060年には40%近い水準になると予想されている。このままでは、医療福祉就業者数が増えても労働力の中核を成す生産年齢人口は高齢化率に追いつかず、医療福祉就業者ひとりにかかる負担は増大する一方であると言える。医療・介護機関においても優秀な人材の確保と

定着が急務である。そこで、医療・介護機関の働きやすい職場環境づくりを推進すべく、率先して「ポジティブ・オフ」を実践するため福利厚生サービスの積極的な活用を社員に推奨している。

同社では、より豊かな暮らしとより多くの学びの機会を社員に提供できるようにオンとオフ両方を応援する制度を導入する必要があると考え、自社の提供する福利厚生サービス（@Benefit）を自社の社員にも積極的に活用することを推奨した。福利厚生サービスを有効に活用することで、「充実した余暇で活力を高め、学びの機会を提供することで、安心して業務に打ち込める職場環境が築かれる」と社員全員で認識を共有することができた。また、社員本人だけではなく社員の家族も利用できる福利厚生サービスであることから、家族の仕事に対する理解が深まったと言う。これからも自社サービスである『@Benefit』を自社の社員が積極的に活用し、そして、医療・介護業界に「ポジティブ・オフ」を啓蒙することで、医療・介護従事者のより良い職場環境づくりに貢献したいと考える。福利厚生をコストとして捉えるのではなく戦略的な投資として捉え、それが、優秀な人材の採用と定着につながり、生産性の向上を生み出すことを伝えていくことで、自社の使命である、安全・安心な医療福祉が提供される豊かな社会の実現に寄与したいと考える。

「ポジティブ・オフ」運動 取組企業・団体の事例掲載中！

⇒ [http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02\\_000054.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02_000054.html)

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

・労働安全衛生法が改正【厚生労働省】（2014年6月）

労働安全衛生法の一部を改正する法律が、6月25日、公布されました。改正法のポイントとしては、

- 1.化学物質管理のあり方の見直し
- 2.ストレスチェック制度の創設
- 3.受動喫煙防止対策の推進
- 4.重大な労働災害を繰り返す企業への対応
- 5.外国に立地する検査機関などへの対応
- 6.規制・届出の見直しなど

が挙げられています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000049191.html>

・第8回「ワーク・ライフ・バランス大賞」募集を開始【公益財団法人日本生産性本部】（2014年6月）

「ワーク・ライフ・バランス大賞」は、企業・労働組合などのワーク・ライフ・バランスを推進する先進的・積極的な活動を表彰し、各界の取組みを活発にすることを目的に、今年第8回目として実施します。締切は、9月5日。表彰式は11月10日予定。

⇒ <http://activity.jpc-net.jp/detail/lrw/activity001410.html>

・「短時間正社員制度 導入・運用改善セミナー」を開催【浜銀総合研究所（厚生労働省委託）】（2014年7月～9月）

本セミナーは、最新の活用事例等をもとに、導入及び運用に関する情報を提供することにより、短時間正社員制度の普及を促進することを目的としています。

⇒ [http://part-tanjikan.mhlw.go.jp/seminar26\\_02/](http://part-tanjikan.mhlw.go.jp/seminar26_02/)

・第144回労働政策審議会雇用均等分科会を開催【厚生労働省】（2014年7月）

標記審議会を7月17日開催しました。主な議題は、1.短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱及び事業主が講ずべき短時間労働者の雇用管理の改善等に関する措置等についての指針の一部を改正する告示案要綱について（諮問）2.次世代育成支援対策について等です。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f5z.html#shingi126989>

・第2回ストレスチェック項目等に関する専門検討会 資料を公表【厚生労働省】（2014年7月）

標題 専門検討会の資料を公表しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000051338.html>

・平成26年度「ダイバーシティ経営企業100選」を公募【経済産業省】（2014年7月）

経済産業省では、女性、外国人、高齢者、障がい者など多様な人材を生かす「ダイバーシティ経営」によって企業価値の向上を果たした企業を募集しています。今年度は特に「男女を含めた働き方改革」の事例を広く募集しています。「優れたダイバーシティ経営企業」として選定されると、来年3月に表彰されるほか、その取組内容がベストプラクティス集として刊行されます。今年度がこの事業の最終年度となりますので、ふるってご応募ください。（応募締切8月20日（水）17時必着）

なお、全国各地で、これまでの受賞企業にご登壇いただき、経営成果を発表するセミナーを開催します。

<セミナー開催予定>

札幌8月4日（月）北洋銀行ホール

広島8月25日（月）広島県民文化センター 多目的ホール

沖縄8月7日（木）沖縄県立博物館・美術館（1階博物館講座室）

⇒ <http://www.diversity100sen.go.jp/>

●地方公共団体の動き

・大学生向け「ライフプラン・キャリアデザインセミナー」を開催【石川県】(2014年7月)

石川県では、今年度より、ワークライフバランス推進事業の新たな試みとして、大学生を対象として、講演や自身の今後を考えるグループワークを含むセミナーを北陸学院大学を皮切りに県内の大学等で開催しました。

⇒ [http://www.i-oyacomi.net/wlb/news\\_sub.php?wt\\_no=125](http://www.i-oyacomi.net/wlb/news_sub.php?wt_no=125)

・「次世代の女性管理職養成セミナー」の受講者を募集【愛知県】(2014年7月)

愛知県では、業種を超えて女性たちが集い、管理職として必要なビジネスセンスや実践力を身に付けるためのセミナーを開催します。受講対象者は、県内の企業等で働く女性中堅社員で、全日程(5日間)出席できる方(企業からの推薦が必要です。なお、既に管理職に就かれている方は対象外)、応募方法は、8月29日までに「セミナー受講申込書」に必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送又は持参にて、愛知県県民生活部男女共同参画推進課まで提出下さい。

⇒ <http://www.pref.aichi.jp/0000073236.html>

・第1回「ファザー・オブ・ザ・イヤーin みえ」の募集を開始【三重県】(2014年7月)

三重県では、このたび、育児中のステキな男性や、男性の育児参画を応援しているグループや企業、従業員等の仕事と育児の両立を応援している上司や先輩等を表彰する、第1回「ファザー・オブ・ザ・イヤーin みえ」の募集を行います。「我こそは育児男子!」という方も、「うちのパパ最高!」という方も、たくさんのご応募をお待ちしています。(応募期間7月11日~10月15日)

⇒ <http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/app/details/index.asp?cd=2014070155>

・「輝く女性活躍加速化とっとり会議発足」記念イベントを実施【鳥取県】(2014年7月)

このたび、鳥取県の経済界が中心となって、女性の活躍を推進する官民連携組織「輝く女性活躍加速化とっとり会議」を発足します。地域経済の活性化、企業の経営の鍵を握る「女性の活躍」について、どのような取組が必要か、実践に向けた取組がスタートします。

⇒ <http://www.pref.tottori.lg.jp/237578.htm>

・女性の活躍促進シンポジウム・研修会を開催【広島県】(2014年7月)

平成26年4月に経済団体、労働団体、行政が一丸となって「働く女性応援隊ひろしま」を結成し、県内では女性の活躍を促進する企業の取り組みを進める機運が高まっています。

この度、応援隊の結成を記念して、シンポジウムと研修会を実施します。

⇒

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/244/joseikatsuyakusokushin-symposium-kensyukai.html>

・子育て女性の就職を支援【福岡県】(2014年6月)

就職を希望する子育て中の女性を対象に、仕事の探し方やお子様の預け先、応募に関する様々な相談(就業相談)に応じています。また応募書類の添削、模擬面談やセミナーで就職活動をサポートする他、求人開拓、就職あっせんまでワンストップで支援しています。

⇒ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kosodatejosei-fukuoka.html>

・九都県市 一斉 NO 残業 DAY!【九都県市】(2014年7月)

企業・事業所や県民一人ひとりがワーク・ライフ・バランスの重要性を理解し、定時退社に取り組んでいただくため、今年度は8月6日(水)、率先して九都県市職員の一斉定時退社に取り組めます。皆さんの会社でも、この機会にワーク・ライフ・バランスについて考え、定時退社に取り組んでみましょう。(九都県市:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/koyou/worklifebalance/jisedai/9tokenshi.html>

・企業のワーク・ライフ・バランスへの取組に関する調査【北海道札幌市】(2014年6月)

札幌市では、市内に事業所を有する企業を対象に、標題 調査を実施しました。

- ・「ワーク・ライフ・バランス推進のための制度・取組」について、『実施中』とする割合が高い項目は、第1位「1日未満単位(半日、1時間単位等)での有給休暇取得制度」5割弱、2位「育児のための始業時間繰下げ・就業時間の繰上げ制度」3割強、3位「年次休暇の取得促進措置」3割強の順となっている。

- ・「年次休暇の取得促進措置」については、「実施中」が31.1%と3割強を占める。

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/wlb/chousahoukoku.html>

・WLB研修を実施する企業・団体に講師を派遣【神奈川県横浜市】(2014年7月)

横浜市では、WLBや両立支援に関心がある横浜市内の事業所・団体を対象に、5事業所・団体を募集し、講師を派遣します。(申込期限:8月31日)

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/kousihakenchirashi.pdf>

・ワーク・ライフ・バランス キーパーソン養成講座(第3弾)開催【(公財)兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター】(2014年6月)

WLB 実現推進活動の中心となる経営者・役員・人事・労務・総務などの担当者（定員 30 名）を対象とし、8 月～11 月までの計 4 回、（申込締切日：8 月 11 日）

⇒ <http://www.hyogo-wlb.jp/pdf/new/keyparson-chirashi2014.pdf>

・ひょうご仕事と生活のバランス企業認定・表彰 候補団体募集【(公財) 兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター】(2014 年 7 月)

ワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等の先進的な取組を実施している企業、団体の認定・表彰を行います。

⇒ <http://www.hyogo-wlb.jp/news/detail.php?id=70>

● イベント（開催日順に掲載）

・ワークライフバランスレベルアップ研修会【主催：東京都】

日時 8 月 4 日（月）13:30～16:30

場所 東京都国分寺労政会館 3 階 第 2 会議室

内容 講義（導入が求められる背景・効果 他）、グループワーク

講師 (株)ワーク・ライフバランス

ワーク・ライフバランスコンサルタント 横山真衣氏

対象 経営者、人事労務担当者、その他関心のある方 20 名

参加費 無料

⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kokubunji\\_levelup.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kokubunji_levelup.html)

・ワークライフバランスレベルアップ研修会【主催：東京都】

日時 8 月 5 日（火）14:00～16:00

場所 江東区亀戸文化センター 5 階 研修室

内容 「ワークライフバランスを実現する在宅勤務～実践企業の事例紹介を含めて～」

講師 (株)テレワークマネジメント 代表取締役 田澤由利氏

(株)ヒロケイ 専務取締役 吉本数美氏

対象 事業主、人事労務担当者、その他関心のある方 50 名

参加費 無料

⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kameido\\_levelup.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kameido_levelup.html)

・キャリアフォーラム in くまもと【主催：熊本新卒者等就職・採用応援本部】

日時 8 月 12 日（火）13:30～16:30

場所 くまもと森都心プラザホール

内容 第 1 部 基調講演「どうする！？これからの企業選び」



講師 エコノミスト B R I C s 経済研究所代表 門倉貴史氏  
第2部 公・労・使によるパネルディスカッション  
対象 大学生、高校生、専修学校各種学校生、新規学卒者等、保護者等、その他若者の就職に関心のある方 500名程度  
参加費 無料  
⇒ <http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/61/kyaria.html>

・公開講座「女性の力を企業の力に！」～多様な人財とともに拓くとちぎの未来～【主催：栃木県・宇都宮大学】  
日時 8月21日（木）13:30～15:30  
場所 宇都宮大学 1223 教室（峰5号館）  
講師 G & S Global Advisors Inc.  
代表取締役社長 橘・フクシマ・咲江氏  
対象 一般県民の方 150名（先着順）  
参加費 無料  
⇒ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/houdou/h26womanp.html>

・ワークライフバランスレベルアップ研修会＜応用編＞【主催：東京都】  
日時 8月26日（火）14:00～16:00  
場所 東京都労働相談情報センター 池袋事務所 3階セミナー室  
内容 「中小企業＜でも＞＜ならでは＞の取り組み方 事例紹介を含めて」  
講師 特定社会保険労務士／キャリア・ディベロップメント・アドバイザー  
ノーブル・インクルージョン（株）代表取締役 永田幸江氏 他  
対象 経営者、人事労務担当者、その他関心のある方 60名  
参加費 無料  
⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/ikebukuro\\_levelup.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/ikebukuro_levelup.html)

・ワークライフバランスレベルアップ研修会＜応用編＞【主催：東京都】  
日時 平成26年8月28日（木）14:00～16:00  
場所 八王子労政会館3階 第4会議室  
内容 「本音で語るワークライフバランス  
～経営上のメリットから実施のコストまですべて話します！～」  
講師 （講義・コーディネーター）特定社会保険労務士 櫻井三樹子氏  
（パネリスト）パシフィックコンサルタンツ（株）  
事務管理本部 労務・法務部担当課長 油谷百百子氏  
（株）キャリア・ママ 経営企画部 村田直美氏

対象 事業主、人事労務担当者など 20 名

参加費 無料

⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/hachioji\\_levelup.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/hachioji_levelup.html)

・「男女共同参画推進フォーラム：ひとりひとりの活躍が社会を創る」（8月29日～31日）  
開催【主催：独立行政法人国立女性教育会館（NVEC）】

大学、企業、地域など様々な分野において男女共同参画、ダイバーシティ、女性の活躍を推進する担当者が一同に会し、日本の男女共同参画の推進について共に考える場を設けます。会期中は特別講演や「女性リーダー会議」、全国から募集したワークショップ、ポスター展示など、様々なプログラムが開催され、どなたでも自由に参加できます。ぜひお越し下さい。

主な内容：

○特別講演「女性の活躍促進と社会の活性化」

8月30日（土）13:15～14:45

講師：村木厚子 厚生労働事務次官

○女性リーダー会議「女性リーダーが社会をどう変えるか」

8月29日（金）13:15～15:15

パネリスト：

宗片恵美子 特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事

伊藤麻美 日本電鍍工業株式会社代表取締役

清原慶子 三鷹市長

コーディネーター：

麓幸子 日経BPヒット総合研究所長・執行役員

○ワークショップ「第58回国連婦人の地位委員会（CSW）報告会」

8月30日（土）10:00～12:00

○ワークショップ「地域における男女共同参画の推進－実践事例に学ぶ－」

8月30日（土）15:30～17:30

○このほか、全国から集まった男女共同参画に関するさまざまな取組の発表・報告を行う44のワークショップが開かれます。

⇒ <http://www.nvec.jp/jp/program/invite/2014/page04i.html>

・第7回公開ワーク・ライフ・バランスカンファレンス【学習院大学経済学部50周年記念事業、GEM（学習院大学経済経営研究所）】

日時 平成26年9月5日（金）13:20～17:00

場所 学習院大学目白キャンパス西2号館2階201教室

テーマ 新しい働き方と新しいマネジメントの融合

定員 300名（先着順）

講演 (株) 帝国ホテル 代表取締役社長 帝国ホテル東京総支配人 定保英弥氏

参加費 無料（事前登録制）

⇒ <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/works/database/info/20140905.html>

・女性アーカイブセンター企画展示『映画と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～』開催【主催：独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）】

映画製作の関連分野におけるパイオニアおよび現在活躍中の女性たちを取り上げ、様々な資料をとおして彼女たちが築いたキャリアの足跡を紹介します。映画上映会などの展示連動企画も予定しています。

期間 8月1日（金）～12月21日（日）（休館日をのぞく）9:00～19:00

場所 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室（本館1階）

料金 無料

⇒ <http://www.nwec.jp/jp/archive/tenji2014.html>

.....

《統計・調査トピックス》

今回のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

.....

●子育て世帯の追跡調査【独立行政法人労働政策研究・研修機構】（2014年6月）

.....

（独）労働政策研究・研修機構では、子育て中の男女に対する就労支援のあり方の検討に資するため、2011年と2012年に行った「子育て世帯全国調査」の調査対象に対し、2013年11月、第1回目の追跡調査を行いました。

・母親の就業収入が、世帯年収のアップ・ダウンを大きく左右

・母親の就業時間が増えても、父親の家事時間数は増えない

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.jil.go.jp/press/documents/20140606.pdf>

.....

●平成26年度「新入社員働くことの意識」調査【公益財団法人日本生産性本部】（2014年6月）

.....

（公財）日本生産性本部と（一社）日本経済青年協議会は、標題 調査結果をまとめました。

・「人並みか人並み以上か」では、「人並みで十分」が今年度さらに増加（昨年49.1→52.5%）

・「仕事中心か（私）生活中心か」という設問では、「両立」という回答が最多 82.4% 等の結果が得られています。

⇒ <http://activity.jpc-net.jp/detail/lrw/activity001412.html>

-----  
●2014 年度新入社員の会社生活調査【学校法人産業能率大学】（2014 年 6 月）  
-----

産業能率大学は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し、調査結果をまとめました。

- ・ 終身雇用制度を望む 過去最高 76.3%
- ・ 女性の管理職志向 過去最高 28.8%
- ・ 仕事と育児の両立 金銭的援助より勤務の融通が有効

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.sanno.ac.jp/research/fresh2014.html>

-----  
●震災を踏まえた子育て環境に関する調査研究【福島県】（2014 年 7 月）  
-----

福島県は、公益社団法人こども環境学会への委託により、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故によって、福島県の子どもを取り巻く環境が変化したことによる県民の子育てに関するニーズの変化の把握及び今後の子育て支援施策への反映を目的として、調査を実施しました。調査結果にもとづく施策の方向性の中で、

- ・ 男女共同参画の観点から、ワークライフバランスや安全安心社会構築に向けた施策の充実が望まれている

についても記載されています。

調査結果は、本県の子育て支援施策全般の基本指針である「うつくしま子ども夢プラン（後期行動計画）」の次期計画にも反映予定です。

⇒ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21035b/kosodate-kankyo.html>

.....  
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

関東地方もようやく梅雨明けとなりました。いよいよ夏本番ですね。夏の訪れとともに各地で花火大会が開催されていますが、みなさんはどこかにお出かけになる予定はありますか？我が家からはなんと、隅田川の花火が見えるんです！スカイツリーの左右から次々と打ち上げられる花火はまさに圧巻でした。来年も雨が降らないことを祈りたいと思います。

今月は夏休みシーズンを迎えることから、「休暇」をテーマにお届けしています。暑いと集中力が落ちてしまいがちです。上手に休暇をとりながら夏を乗り越えたいものです。(ま)

.....